

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう宮崎		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに対する理解と的確な支援	多職種連携を心掛ける 定期的なカンファレンスの開催 スタッフの研修実施(施設内外で実施) 総会での抄録発表	今後も、子どもの特性や様子をしっかりと把握し、保護者へのアドバイスを的確に行っていきます。 スタッフの専門性をより高めていきます。
2	トラブル時の対応が迅速で丁寧	定期的にヒヤリハットを共有し、事故が起きた時の対応についてスタッフ間で共有を図る 艇的な避難訓練など、各種訓練を実施します	トラブルが起きた際、すぐに事実確認と連絡を行い、誠実に対応していきます スタッフ間の対応方法の共有を実施します
3	充実した施設と多様な活動がある	活動が一緒にならない様にスタッフ同士で集団活動などの情報を共有している 児童が安心して通える施設になる様に危険な箇所がないか等確認を行っている	児童がより安心して、楽しみに通ってこれる施設になる様に環境整備、活動の整備を行っていきます

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部交流や行事の実施・情報の分かりづらさ	保護者会や各種イベントを行い告知は行っているが、利用日の児童からの連絡になり、全員に周知が出来ていない	定期的な保護者会活動の計画とともに、児童の外部との関わり機会(外出や公共交通機関利用、外部講師の派遣など)を増やしていきます
2	職員間・保護者間での認識のズレ	保護者とスタッフの連携の不足	保護者によって、伝え方を変えてより分かりやすく伝える等、配慮を行っていきます 保護者との認識のずれをメールや文章などを活用し少なくしていきます
3	情報周知の工夫(特にマニュアルや安全対策)	保護者への周知不足が課題	保護者が確認しやすい形(掲示・配布・メール送信・HP掲載など)での情報提供が必要